福音新聞

Good News No.7

発行：浜松恵みキリスト教会　ホームページ：https://toyokawa-cgc.com/hamamatsu/

「神は、実に、そのひとり子を
お与えになったほどに世を愛さ
れた。それは御子を信じる者が、
一人として滅びることなく、
永遠のいのちを持つためである。」
（聖書）

神の御子か、狂人か

クリスマスでご誕生が祝われているイエス・キリストについて、聖書には「万物の上にあり、とこしえにほむべき神です。」と書かれています。そしてイエス・キリストもご自身について次のように証言しておられます。

「まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。」（ヨハネの福音書5章24節）

「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」（ヨハネの福音書8章12節）

「あなたがたは下から来た者ですが、わたしは上から来た者です。あなたがたはこの世の者ですが、わたしはこの世の者ではありません。（ヨハネの福音書8章23節）

「わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは永遠に、決して滅びることがなく、また、だれも彼らをわたしの手から奪い去りはしません。」（ヨハネの福音書10章28節）

「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」（ヨハネの福音書11章25節）

もし普通の30代の男性がこのようなことを語ったとしたら、誰もが狂人扱いするに違いありません。しかしイエス・キリストと約三年半行動を共にした弟子たちは次のように証言しています。

「キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。」「あなたは生ける神の子キリストです。」（ペテロ）

「この方のうちに罪はありません。」「この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。」（ヨハネ）

「私の主、私の神よ。」（トマス）

弟子たちの証言は多くの人々に受け入れられました。クリスチャンとなった人々の中には、キリストを神として崇めていた故にローマ皇帝を主（神）であると告白することを拒み、生きたままで火炙りにされ、また獅子や熊に食い殺された者たちもいました。彼らは、弟子たちの証言を妄信してひとりの狂人のために命を懸け、陰惨な粛清を甘んじて受け入れたのではありません。イエス・キリストが真実なる神の御子であられたからです。また何故彼らは迫害や困難の中、イエス・キリストを宣べ伝えたのでしょうか？それはこの御方が死後のさばきからの救い主であり、誰もがそのさばきから救われなければならないからです。**「私たちの神であり救い主であるイエス・キリスト」（ペテロ）**

死後のさばきからの救い

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」（聖書）

神は全ての罪人をさばかれます。それは神が義なる正しい御方だからです。神は全ての人

間の心の内にある思いをご存知であり、全てがこの御方の御前に明らかです。イエス・キリストは**「人から出て来るもの、それが人を汚すのです。内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです。」**（聖書）と語られました。聖書には**「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」**と書かれています。人間の罪をさばく真の神は確かに生きておられます。人間やあらゆる動植物、宇宙や地球の仕組みを知るなら、秩序正しさがあり、偶然に出来るものではないことがわかります。人間は真の神を無視しています。これこそ人間の犯している最も大きな罪です。その罪の故に、死後に永遠に続く火の池である地獄に入れられなければならないのです。人間は死を恐れています。それは死後に消えてしまうのではなく、永遠に続く恐ろしい場所があるからです。ですから全ての人間にはさばきからの救い主が必要なのです。

よみがえられたキリスト

神の御子であるイエス・キリストは今から約2000年前、人としてこの世に遣わされました。それは死後のさばきからの救い主となられるためでした。キリストは紀元30年、エルサレム郊外で十字架刑に処せられました。キリストは私たちの罪を赦すために、身代わりとなってさばきを受け、死なれました。そして死後三日目に、葬られた墓の中よりよみがえられました。その後四十日間、弟子たちの前に姿を現され、天の御国に帰られました。このイエス・キリストを自分の救い主として信じ受け入れるなら、罪は全て赦され、さばきに遭うことなく永遠の天の御国に入れるのです。弟子たちはキリストのよみがえりの事実に基づき、自分たちが死で終わることなく、天の御国に行き、いつまでも生き続けると確信して宣べ伝えました。

そのことの故に、ペテロはローマで逆さ十字架に架けられて殉教したといわれています。ヨハネはパトモス島の炭鉱に送られる刑に処せられ、トマスはインドで異教徒たちに槍で刺殺されました。彼らは自分の命を懸けて、イエス・キリストが神の御子であり救い主であることを証言し、宣べ伝えたのです。

どうか、人となられた神の御子イエス・キリストをご自身の救い主と信じ受け入れてください。そして死後のさばきから救われ、天の御国に入れる方となってください。

「聖なる霊によれば、死者の中からの復活により、力ある神の子として公に示された方、私たちの主イエス・キリストです。」
（聖書）

聖書講演会のお知らせ

6月28日（土）

第1回 10時30分～
第2回 13時30分～

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 会議室902

入場無料

東静岡駅南口から200m、徒歩3分

グランシップの駐車場をご利用される場合は、1時間100円必要です。

当日のお問い合わせは、
080-3642-1795 榊原まで

託児の用意もございます。お子様がおられる方もご遠慮なくお越しください。

教会ホームページはこちらからどうぞ

東海東キリスト教会

牧師 畑川 洋一郎
副牧師 榊原 康博

〒430-0852 浜松市中央区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）世界平和統一家庭連合（旧統一協会）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。